

厳しい寒さも少しずつ和らいで参りましたが、OBの先生方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

<中国大会の結果>

中国大会 1 試合目

2月25日(土) VS 岡山大学

11:00 キックオフ 西条総合運動場

広大医 1-0 岡大医

前半 1-0 後半 0-0

コロナ禍が明け、3年ぶりに中国大会が開催された。

広島大学医学部サッカー部は3年生が1人、それ以外は全て2年生以外という完全新体制で臨む初の大会となる。初戦は新体制での公式戦初勝利を目指して岡山大学と対戦する。

前半開始。キックオフ直後は緊張のためか広大イレブンはいつものプレーができない。岡山大学は簡単に裏に蹴ってくるサッカーで、相手に飲まれてなかなかボールが落ち着かない。だが、チームの心臓である保I渡部を中心に、徐々にボールを保持するようになる。

前半15分には右サイドからの低いクロスをゴール前で触り、混戦の中学II上山が押し込みネットを揺らす。これはオフサイドの判定。

徐々にペースを取り戻した広島イレブンは前半21分、ついに待望の先制点を奪う。保I渡部の絶妙な浮き玉パスに3人目の動きで保I山下が抜け出し、キーパーと一対一になる。山下はキーパーを引きつけて横にパスを出し、無人のゴールに学II上山が押し込んだ。公式戦での久しぶりの得点となった広島イレブンは歓喜に沸く。このまま前半は終わる。

後半開始。この日は過密日程で後半開始からメンバーを6人入れ替える。チーム全員で勝ちを狙いに行く広島イレブンは、後半は相手のロングボールに上手く対応し始める。センターバックの学II中島と学I伊藤を中心に、空中戦で負けない、粘り強いディフェンスを見せる。そのまま相手の攻撃を完全にシャットアウトし、試合終了。

広島大学は見事初戦を勝利で飾った。この調子で第二戦目も勝ちを目指していきたい。

文責 学II 井野邊

GK 安床

DF 黒田 伊藤 中島 武藤

MF 渡部→小川 清水→鈴木

上山→伊関 山下→原野

本山

FW 石井→今村

中国大会 2 試合目

2 月 25 日(土) VS 山口大学

13 時キックオフ 西条総合運動場

広大医 1-1 山大医

前半 1-1 後半 0-0

1 試合目を勝利で飾り、最高の滑り出しを見せた広大サッカー部は、第二戦で中四国大会王者の山口大学医学部サッカー部と対戦する。

直前の練習試合では力の差を見せつけられ完敗した相手との再戦となる。

前半開始。前半はお互いに長いボールを蹴り合い、なかなか試合が落ち着かない。しかし、相手の強力な FW 陣を、広大のセンターバック学 II 中島が完璧に抑え込む。

空中戦で完全勝利をおさめ、相手にリズムを与えない。前半 15 分、学 II 今村が裏に抜け出しシュートを放つなど、試合を押し気味に進める広大イレブン。しかし、前半 20 分に一瞬の間をつかれて失点する。裏に抜け出され、一度は GK 学 II 安床がスーパーセーブを見せるも、こぼれ球を押し込まれる。ところが、ここから広大は気落ちすることなく盛り返していく。MF の学 II 小川と保 I 渡部を中心に完全に中盤を支配して、常に相手コートで攻め続ける。そして前半 30 分、保 II 清水のコーナーキックに保 I 山下がニアでヘディング。絶妙なコースに飛び同点ゴールが決まる。

中四国大会では 0-1 で敗れた相手に前半で同点に追いつく成長を見せる。このまま前半は終了。

後半開始。後半は完全に広大がボールを握る。保 I 渡部がさらに調子を上げていき、圧巻のプレーを見せ続けて試合を支配し続ける。怒涛の攻めを見せる広島イレブンは後半 15 分、学 II 黒田がゴール前へクロスを送ると、キーパーが弾いたところを学 II 上山が詰める。だがシュートはキーパーのど真ん中にいってしまい、得点とはならない。後半 20 分には学 I 大元が左サイドを切り裂き、鋭いシュートを放つが枠外へ。後半 28 分には、保 I 渡部が中盤で相手 3 枚を次々とかわし、強烈な左足を一閃。しかし枠をとらえられない。守備では学 II 中島が躍動し、相手に全くチャンスを作らせない。そのまま試合終了。

試合を支配するもあと 1 点が遠い広大イレブンは、悔しいドロワーとなってしまった。ただ、1 日目は全体 2 位で折り返すという、上々な滑り出しとなった。

文責 学 II 井野邊

GK 安床

DF 黒田 田島 中島 伊藤

MF 渡部 小川 清水 上山

山下→大本

FW 今村

中国大会 3 試合目

2月26日(日) VS 神戸大学

13時キックオフ 西条総合運動場

広大医 1-1 神大医

前半 1-0 後半 0-1

第 3 戦目に勝利すると一気に優勝に近づく広島大学は、神戸大学と対戦する。初日の疲れも残る中、選手をローテーションしながら総合力で勝負に出る。

前半開始。広大は開始から中盤を支配する。保 I 渡部がセカンドボールをほぼ全て回収して、相手にペースを渡さない。すると前半 10 分、いきなり試合が動く。裏に飛び出した学 II 上山が中にボールを落とすと、走り込んだ保 II 清水がグラウンダーのシュートを放つ。抑えの効いたシュートが左サイドネットに突き刺さり、広大が先制する。その後も相手にチャンスを作らせず、ボールを支配してゲームを進める。そのまま前半終了。

後半開始。後半から 4 戦目に向けてメンバーを入れ替える。メンバーが変わっても試合を支配するのは広大。相手にチャンスらしいチャンスは全く作らせず、ゲームを進めていく。学 II 原野のドリブルや学 III 上村の身体を張ったプレーで、ゲームを支配していく。このまま終了かと思われたが残り 5 分で同点に追いつかれる。ディフェンスラインが一瞬ずれたところを裏に抜け出され、右サイドからクロスを入れられる。ゴール前の混戦を最後は押し込まれ失点。そのまま試合終了。

目の前で勝ち点 3 を取り逃がす痛すぎる敗戦となった。これで優勝には大量得点での勝利が必須となったが、まだまだ諦めずにやっていきたい。

文責 学 II 井野邊

GK 安床

DF 黒田→武藤 田島 中島

伊藤→赤池

MF 渡部→小川 本山

清水→神内 上山→上村

山下→原野

FW 石井→今村

中国大会 4 試合目

2月26日(日)VS鳥取大学

15時キックオフ 西条総合運動場

広大医 0-2 鳥大医

前半 0-1 後半 0-1

3試合目に痛恨の引き分けとなった広島大学は、優勝のためには大量得点での勝利が絶対条件となった。全員で一致団結し、最後の鳥取大学戦に臨む。

前半開始。前半から広大はボールを支配して攻め込む。前半10分、学II今村が相手をかかわしてミドルシュートを放つものキーパーの正面をつく。その後も保II清水を中心に広大は攻め立てる。前半15分には保I渡部がドリブル突破からシュートを放つものキーパーに防がれる。ところが前半25分、セットプレーから失点を許す。ファーサイドでフリーの状態ですり返され、ゴール前に詰められる。集中を欠いた中での勿体無い失点となった。ここから広大は焦ってしまい、いつもの攻撃ができない。そのまま前半終了。

後半開始。後半から広大はいつもの通りのサッカーを見せる。ディフェンスラインから丁寧に繋いで行き、徐々に試合のペースを握っていく。何度も押し込んでクロスを上げるも、相手ゴールキーパーにことごとくキャッチされてしまう。

そして後半28分、一瞬の隙をつかれ、相手にスーパーシュートを叩きこまれる。そのまま試合終了。

得点力という課題が残った大会となった。

文責 学II 井野邊

GK 安床

DF 黒田 伊藤 中島 田島

MF 清水 渡部 小川 上村

大本→山下

FW 今村

<今後の予定>

3月23日(木) 卒業式

4月5日(水) 練習再開

段原中学校

19:00~